

# 土蔵のあれこれ なりたちと修理・活用を探る

主催 伝統技法研究会

日本各地に見られる土蔵ですが、現在では使用目的が薄れ、損傷したまま放置されている例や、修理の相談があっても解答を持ち合わせない設計者や施工者がいるのが現実です。

伝統技法研究会では、常に土蔵の性能や機能を生かした修理方法を探ってきました。

今回は、その修理方法を具体的に検証し、その先の活用も含みながら、皆さんと一緒に考えてみたいと思います。

## 第1講 9月18日(金)

### 『土蔵と見世蔵』

—発生と普及、そして保存と活用—

講師：河東 義之 (小山高専名誉教授)

## 第2講 10月14日(水)

### 『土蔵の修理方法あれこれ』

—修理方法を職人の目で検証—

講師：加藤 信吾 (加藤左官工業)

綾部 孝司 (綾部工務店)

藤井 禎夫 (フジイ瓦工業)

## 第3講 11月18日(水)

### 『使い続ける土蔵』

—温熱環境や耐震性能を踏まえて—

講師：未定

会場：BIZ新宿 (区立産業会館) 研修室A  
新宿区西新宿6-8-2 (TEL03-3344-3011)

時間：18:30~21:00 (開場 18:00)

定員：90名 (要申込み)

参加費：一般 2,000円 (3回通 5,000円)

伝技会員 1,500円 (3回通 4,000円)

学生 500円

申込み：伝統技法研究会 担当：大澤

TEL 03-3367-1165 / FAX 03-3367-1175

メール dengi@kta.biglobe.ne.jp



皆さまへ

日頃より伝統技法研究会にご協力いただきありがとうございます。  
皆さまもお変わりなくお過ごしのことと思います。  
この暑さも、もう少しの辛抱でしょうか。

さて、この度、伝統技法研究会の秋恒例の伝技塾3回連続講座を開催することになりました。

第10回伝技塾のテーマは、私たちがこれまで関わってきた土蔵について取り上げます。

この機会に、わが国の伝統的建造物のひとつである土蔵を掘り下げ、課題を浮かび上がらせ、我々の関わった修理工事等を題材に、保存と活用について皆さまと一緒に考えていければと思っております。

皆さまお誘い合わせの上、ご参加をお待ちしております。

2015年8月吉日

伝統技法研究会

担当 大平茂男  
衣袋和子  
大平秀和  
十川百合子

お願い：メールアドレスをお持ちの方は、会場変更等の緊急時連絡用に、  
お手数ですが、伝統技法研究会（[dengi@kta.biglobe.ne.jp](mailto:dengi@kta.biglobe.ne.jp)）宛てに、  
アドレスをお知らせ頂けると幸いです。